

(科目コード : 8100420113MM)

【改訂】第31版 (2014-03-13)

【科目】3D-CAD

【科目分類】 専門科目 【選択・必修の別】 必修 【学期・単位数】 通年・2単位

【対象学科・専攻】 機械 3年

【担当教員】 前期：日下田 淳

後期：櫻井 文仁

### 【授業目標】

1, 2年生で学習した設計製図の知識をもとに, 三次元CADを用いてモデルを作成する技能を身につけることができる.

コンピュータを用いた解析の基礎を理解することができる.

### 【教育方針・授業概要】

本科目の総授業時間数は45時間である.

まずは三次元CADソフトウェアであるSolidWorksを用いて, イメージされた構造体をモデル化する技法を身につける. 最初に, 将来的な設計変更を意識したモデルの設定法やSolidWorksの基本的な構造やコマンドを理解する. 次にモデル化のための手順と仕組みを理解し, 例題をこなしながら, モデル化のための技法を修得する. モデルが作成できるようになったら, 組み込まれている構造解析ソフトにより, 応力解析等を行い, 応力や変形の程度を理解する.

### 【教科書・教材・参考書等】

教科書: 図解SolidWorks実習: 栗山 晃治, 新聞 寛之: 森北出版: 978-4627666627

### 【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

機械工学科棟3階設計演習室で実施する.

### 【成績評価方法】

[前期]中間試験: 10%, 期末試験: 10%, レポート: 30%, 中間試験には定期試験以外の豆テストの評価も含める. レポート評価には, 課題提出物すべてを含む.

[後期]中間試験: 10%, 期末試験: 10%, レポート: 30%, 中間試験には定期試験以外の豆テストの評価も含める. レポート評価には, 課題提出物すべてを含む.

### 【本校の学習・教育目標】

(C) 技術的問題解決のための専門分野の基本的知識を身に付ける

各学科における専門科目を学習することにより, 技術的課題を理解し対応できる

(D-2) 技術的問題解決のために必要な情報を収集し, 解析するための基本となる情報処理技術及び工学的ツールを活用できる

### 【授業計画】(3D-CAD)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1	製図の復習と三次元CAD	手書きの製図の内容の確認, 三次元CADとのつながり		
2	コンピュータ操作の基礎	コンピュータを扱う上での基本的事項の確認		
3 - 4	SolidWorksの特徴	ドキュメント, パラメトリック機能, 設計意図	課題	
5 - 7	SolidWorksの基本	ユーザーインターフェースの確認 部品ドキュメントの作成(押し出しボス/ベース)		
8 - 10	SolidWorksの基本	部品ドキュメントの作成(スイープ) 部品ドキュメントの作成(ロフト) 部品ドキュメントの作成(回転)	課題	
11	SolidWorksの基本	寸法配置		
12 - 14	SolidWorksの基本	例題演習(プーリ) 例題演習(水差し)	課題	
15	SolidWorksの基本	構造解析(部品)	課題	
16 - 17	実践的学習(フードプロセッサ)	アセンブリの復習(部品の組み付け) アセンブリの復習(幾何拘束)		
18	実践的学習(フードプロセッサ)	部品容器の製作	課題	
19	実践的学習(フードプロセッサ)	ユニット「カッタ」の製作		
20	実践的学習(フードプロセッサ)	ユニット「フタ」の製作		
21 - 23	実践的学習(フードプロセッサ)	ハンドルの製作, すべての組み付け 図面作成	課題 豆テスト	
24 - 25	実践的学習(パワーショベル)	部品構成とモデル化の流れの説明 キャビンの製作	課題	
26 - 28	実践的学習(パワーショベル)	シャーンシの製作 アーム1, アーム2の製作 その他の部品の製作	課題	
29 - 30	実践的学習(パワーショベル)	構造解析(アセンブリ)	豆テスト	